

江波中だより

10月号

平成24年9月28日(金)

校長 山本 光信

学校教育目標 「豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒の育成」

学校のリーダー3年生中心のエール交換から始まった、体育祭。

心配していた天気は、快晴。生徒全員の思いが伝わった素晴らしい天候。今年度から取り入れた“エール交換”から体育祭が始まりました。3年生の団長・副団長を中心とした保健体育委員による応援。各ブロック（赤・白・青）の独自の応援が始まりました。自分たちが考えた応援を縦割り練習の時間を使って、後輩に指示を出して練習を続けました。リーダーである団長・副団長と1，2年の保健体育委員は、体育祭当日までの放課後は残って声だしや指示の出し方を練習しました。たくさんの思いを込めて、当日は開会式の後、1番目のプログラムとして“エール交換”が行われました。応援歌あり、振り付けあり、ウエーブ等工夫された応援が快晴のグラウンドに響き渡りました。新しい体育祭の歴史を感じることが出来ました。



青ブロック



白ブロック



赤ブロック



吹奏楽部によるマーチング

体育祭が始まると、どの競技に出場する選手みんなが一生懸命で、最後まで全力で走る姿、勝負が決まっている後も力を緩めず取り組む姿にし自然と会場から大きな拍手や声援が起こりました。その応援は、ブロックに関係なく頑張る姿に声援を送る、まるで、エール交換の続きのようでした。そして、江波中伝統の大むかで。1年生の一生懸命な大むかで。2年生の工夫

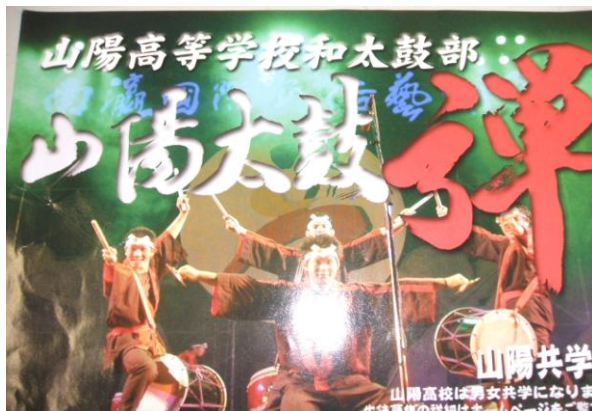
して取り組んだ大むかで。3年生の意地と男女の団結を見せた大むかで。残念ながら、江波記録には惜しくも届かなかったですが、いろいろな大ムカデを見せてくれました。



閉会式では、団長・副団長から各ブロックへ感謝の気持ちを述べる場面があり、言葉やら感激一杯の表情で話す3年生の姿を見て、1、2年生はさすが3年生とあこがれのまなざしで見っていました。最後は、グラウンド中に大きな拍手が響き渡り、体育祭が終了しました。

学校PTC 山陽高校による「和太鼓」

9月20日（木）午後14：00から、体育館においてPTCが行われました。今年度は、山陽高校和太鼓部による山陽太鼓の演奏を聴きました。ステージに運ばれた大小数々の太鼓、笛による演奏は、体育館一杯に迫力ある太鼓の音色や演技、そして、空手部の演舞が加わり、日本の伝統を高校生が演奏し演じることで非常に身近に感じることが出来ました。



冬服更衣準備期間です

9月24日（月）～10月8日（火）までの間、冬服への更衣準備期間として、夏服・冬服での登校が可能になります。ただし、長袖を着用する場合、男子はネクタイを女子はリボンを着用するようになります。10月8日からは、完全に冬服登校となりますので準備をよろしくお願いします。

前期末懇談会が行われます

10月1日（月）～3日（水）までの3日間で前期末懇談会が行われます。1年生にとっては、初めて中学校の通知票が渡されます。2年生は、学校の中心としてクラブ活動・生徒会活動が始まります。3年生は入試に向けて具体的な話が出てくる時期になります。各学年ともこの懇談会をきっかけに、後期のスタートへ向けて目標を設定したり、自分自身を振り返ることが出来たら良いと思います。この3日間は、午前中で下校しますが、4日（木）5日（金）と第3回定期テストが実施されます。計画を立て時間を有効に使ってほしいと思います。